

●霧島市の小学校

県教育委員会は、毎年1月に県内全ての公立小学校の5年生、中学校の1・2年生を対象に「鹿児島学習定着度調査」を実施しています。3月にその結果が公表されましたので、本市の児童生徒の学力の状況や取り組みについてお知らせします。

■結果の概要

●霧島市の小学校  
小学5年(現6年)の結果は全教科で、県が設定している通過率7割を超えました。おむね学習内容が定着していると考えられます。算数は2年間、県平均を超えています。

●霧島市の中学校

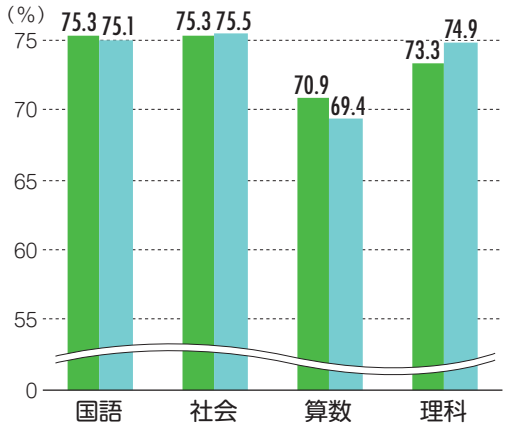
中学1年(現2年)は、国語、数学は通過率7割を超えました。社会、理科、英語は6割台に留まり、5教科とも県平均を下回っています。

中学2年(現3年)は、社会以外の4教科で県平均を上回りました。しかし、社会、数学、英語においては、7割に達していません。

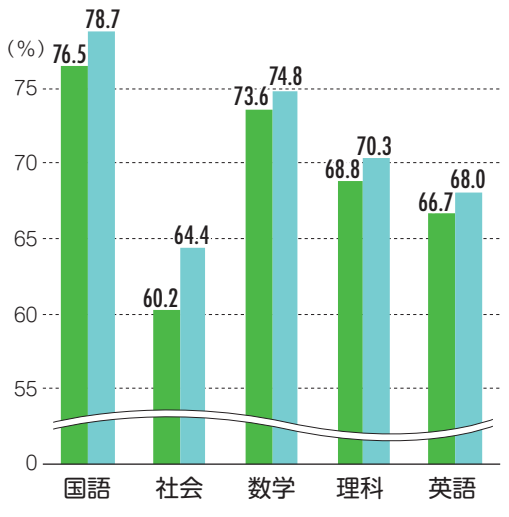
■教育委員会や学校の取り組み

●確かな学力の定着に向けた授業改善  
学校では調査後、当該学年の児童生徒に補充指導を行い、年度内に定着を図る取り

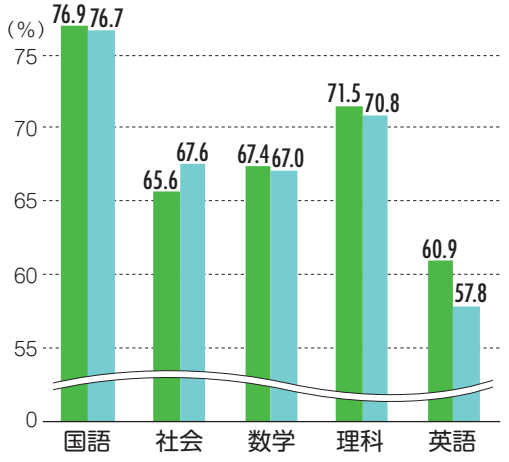
小学5年(現6年)の通過率



中学1年(現2年)の通過率



中学2年(現3年)の通過率



令和2年度 各教科通過率の合計 (単位: %)

	本市	県	県との差 (令和元年度)
小学5年	294.8	294.9	-0.1 (+1.7)
中学1年	345.8	356.2	-10.4 (+3.6)
中学2年	342.3	339.9	+2.4 (+7.8)

# きりしまっ子の基礎学力

令和2年度鹿児島学習定着度調査結果から



●授業におけるタブレット端末の効果的活用  
市内の小学3年以上の全児童を組みを行いました。実態把握に向けて自校の結果を全職員で分析し、課題を明確にして、全学年で授業改善に取り組んでいます。具体的には「限られた文字数で時間内に自分の考えを書く活動」や「自分の考えを持ち、伝え合う活動」などを授業に取り入れていきます。

●授業におけるタブレット端末の効果的活用  
教育委員会は、演習問題を提供するとともに学校訪問を通して取り組み状況を把握し、指導助言を行っています。

児童生徒にタブレット端末を配布しています。一人一人の理解度に応じて出題されるデジタル教材や、互いの考えをタブレット上で発表し、学びを深めるアプリなどの活用が始まりました。

個別学習や協働学習などさまざまな学習場面での効果的な活用について、実践を通して研究し、自ら考え、表現し深く学ぶ質の高い授業を目指します。小学1・2年にも今年度中にタブレット端末を配布する予定です。

07

◎問 学校教育課 ☎(64)07

※通過率=設問ごとに正答した児童生徒の数を調査実施全児童生徒数で除したものの。